

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	環境対策事業	担当者	地域経営課	環境政策係
-------	--------	-----	-------	-------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	4. 自然と共生する、便利で安全・安心な村／生活環境の整備／環境対策			
関連する主な計画等				
根拠法				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	個人・法人			
事業開始年	H21～	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	再生可能エネルギー設備導入に支援することで、エネルギーや自然環境に関心を持ってもらうとともに、環境への負荷を軽減した人と自然に親かなまちづくりを推進する。				
具体的取組	H21.10から補助金交付要綱制定し事業を開始 ①住宅等用太陽光発電システム設置補助金：住宅等への太陽光発電システム設置に対して補助。設置設備の発電出力1Kwあたり5万円(上限20万円) ②環境にやさしい住宅設備導入補助金：木質バイオマス燃料ボイラー、ストーブの導入と太陽熱温水器の導入に対して補助。補助額は導入費の1/3(上限：ボイラー20万、ストーブ10万、太陽熱温水器一体型5万、分離型10万)				
実績・効果	H27までの交付累計は、太陽光174件、住宅設備75件(薪ストーブ44件、太陽熱温水器31件)であり、設備普及が進んでいる。(H27 太陽光13件、薪ストーブ1件、太陽熱温水器5件)				

歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		太陽光発電補助金	2,502	環境に優しい住宅設備補助金	550	
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額(千円)	7,833	5,888	3,052	4,000	4,000
	うち一般財源	7,833	5,888	3,052	4,000	4,000
	うち補助金					
	うち個人負担					
	従事職員(人)	正規職員 0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	b	太陽光発電の制度変更等により、ニーズが低くなってきている	B
	手段、成果は妥当か	a	設備導入には多額の費用がかかるため、この制度で設置を後押ししている	
	対象者の設定は妥当か	a	妥当である	
	村の関与は妥当か	a	再生可能エネルギーを推進する立場として妥当である	
有効性	期待された効果が得られたか	設備普及が進んでいる	A	
効率性	コストの削減に努めたか	a	現状では余地なし	A
	効率性を高める工夫はされたか	a	できるだけ手続きを簡略化している。	
公平性	受益者負担は適切か	補助金以外は設置者の負担となっている。	A	
総合評価	B			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	太陽光発電については、設備コストが下がり、国の補助も終了している。制度の検討が必要。
今後の取り組み	住宅設備について、木質燃料供給の仕組みを踏まえた総合的な視点で制度内容を検討が必要。